

9. 時代と共に新たなジャンルへ

昭和 20 年代後半から特に 30 年代は、クラシック音楽公演の会場としての公会堂は“黄金期”を迎えたといえます。

その後、1958 年(昭和 33 年)に愛知文化講堂(現在のオアシス 21 の場所)が、1972 年(昭和 47 年)には名古屋市民会館(現日本特殊陶業市民会館)が、1992 年(平成 4 年)には愛知県芸術劇場がオープンしました。

オーケストラやオペラの公演はこれらのホールに移っていったため、クラシックホールとしての公会堂の役割は戦前からの大きな足跡を残しつつも徐々に小さくなりました。

クラシック以外でも、返還後から昭和 40 年代半ばまでは、歌謡ショーを始めグループサウンズやその後のフォークソングのブームで音楽公演が公会堂でも多く行われましたが、その後中日劇場(1966 年/昭和 41 年開館)、愛知県勤労会館(1970 年/昭和 45 年開館)、愛知厚生年金会館(1980 年/昭和 55 年開館)などに移っていきました。



愛知県文化会館 ①美術館 ②講堂 ③図書館



名古屋市民会館 大ホール

昭和40年代半ばから海外のポップス歌手やロックバンドが来日するようになり、名古屋では公会堂で数多くのコンサートが行われました。当時、新しくできたホールがロックコンサートを受け入れなかった、という事情があったようです(一説によると市民会館で椅子の上に立ったお客さんが椅子を壊したことが理由だとか…)。また公会堂は残響時間が短く、大音量のコンサートと相性が良かったようです。

当時から現在まで、海外メジャーバンドの公演を数多く主催してきたCBCテレビの記録を見ると、東京では武道館を満員にするような有名バンドが次々と公会堂に来ています。

現在までの出演アーティストは、数が多すぎてとてもここには全てを書き切れません。主なアーティストだけでも、リストのと通りの豪華な顔ぶれです。そこで公会堂はいつしか、洋楽の聖地やロックの殿堂と呼ばれるようになったのです。

昭和43年度1年間の軽音楽催事

歌謡曲	坂本九 / 布施明 / 美川憲一 / 山本リンダ / 雪村いづみ アイ・ジョージ / 荒木一郎 / 伊東ゆかり / 三田明 / ダークダックス 中村晃子 / 吉永小百合 / 美樹克彦 / 二葉百合子 / 小川知子 デュークエイセス / 梓みちよ / 森進一 / 青江美奈 / 畠山みどり 佐良直美 / フランク永井 / 黛ジュン / 村田英雄
ジャズ ラテン シャンソン	有馬徹 / ノーチェ / クバーナ / 東京キューバンボーイズ / 岸洋子
グループサウンズ	ブルーコメッツ / ザ・カーナビーツ / ビレッジシンガーズ 寺内タケシとパニース / パープルシャドーズ / オックス ザ・スパイダース
フォーク	フォーク・クルセイダース / 森山良子
海外アーティスト	ゲイリー・ウォーカー / エンリコ・マシアス

公会堂で公演した歴代の主な海外アーティスト

1965	シルヴィ・バルタン
1965	ベンチャーズ
1966	ビーチ・ボーイズ
1971	アダモ
1972	レッド・ツェッペリン
1973	ディープ・パープル
1973	デヴィッド・ボウイ
1973	サンタナ
1974	ホセ・フェリシアーノ
1974	ボビー・ソロ
1974	ポインター・シスターズ
1974	ニニ・ロツソ
1974	エルトン・ジョン
1975	レターメン
1975	バット・ブーン
1975	ジュリエット・グレコ
1975	ウィッキー・カー
1975	ミッシェル・ポルナレフ
1975	スージー・クワトロ
1975	レイ・チャールズ
1976	イーグルス
1976	ヴァン・マッコイ&スタイリストックス
1977	エリック・クラプトン
1977	エアロ・スミス
1978	ジェフ・ベック
1979	チープ・トリック
1981	ポリス
1983	ジョニ・ミッチェル
1985	ボン・ジョヴィ
1987	シカゴ
1988	KISS
1988	TOTO
1989	ニール・ヤング
1992	エマーソン・レイク&パーマー
2001	ボブ・ディラン
2004	シンディ・ローパー

また、改修工事前に公演時のポスターやプログラムを使い、特別展「名古屋市公会堂とロックコンサートの半世紀」を実施しましたが、これは大きな反響をいただきました。



その後現在に至る公会堂利用の大きな特徴としてサブカルチャーと公会堂についてもご紹介しておきます。

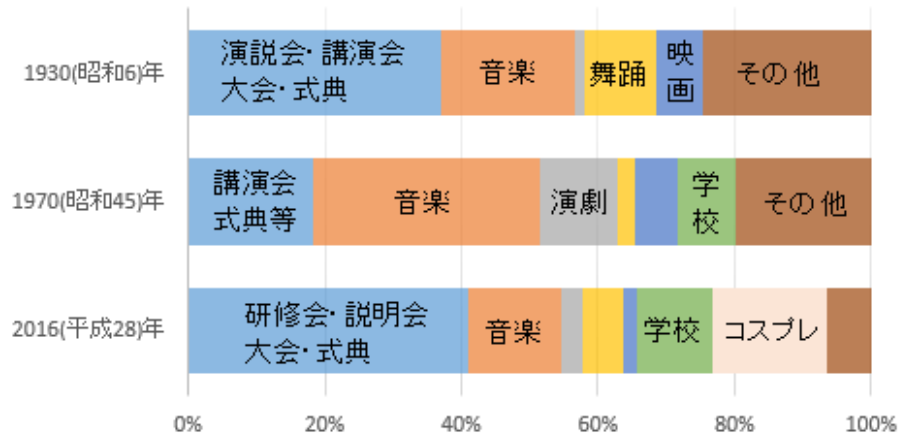
サブカル系の大規模イベントとしては通称「コミケ」で親しまれている同人誌即売会「コミックマーケット」が有名です。コミケの第1回が開催されたのは1975年(昭和50年)。実は名古屋でもそのわずか2年後に「コミックカーニバル」の名で同種のイベントがスタートしています。この「コミカ」は2回目以降、たびたび公会堂4階ホールで開催されました。当時から一部のファンはキャラクターの衣装で来場しており、後のコスプレに繋がります。

時は移り2008年(平成20年)前後から公会堂と鶴舞公園はコスプレの聖地と呼ばれ始めました。最盛期には年間のコスプレ利用日数が全体の何と38%を占め、毎週末コスプレイヤーが全国から集結しました。

1970年代に芽を吹いた名古屋のサブカルが、40年後に大きく花開いた訳です。



利用ジャンルの推移



おわりに

公会堂のあゆみをご紹介してきましたが、1930年(昭和5年)の開館以来、公会堂が名古屋市を中心としたこの地域の文化振興において大きな役割を果たしてきたことをお分かりいただけたのではないかと思います。

また、開館90周年の年にあたる2020年(令和2年)には公会堂の建物が国登録有形文化財として登録されました。

名古屋の貴重な文化遺産でありつつ、今なお現役の施設であり「文化を通じて人々が集う場」として存在する名古屋市公会堂では、これからもみなさまのご来場・ご来館を心よりお待ちしております。